



『犀川下流 災害復旧工事について』

早期復旧に向けて長野市綱島地先で災害復旧工事を実施します。

犀川下流部の長野市綱島地先では、平成23年5月29日の台風2号出水により、約280m河岸が欠損し、堤防側に約40m大きく後退しました。

台風出水前から、千曲川河川事務所では、綱島地先での河岸欠損が中小洪水等により進行していたため、緊急ブロック投入などによる応急復旧を実施してきました。

しかしながら、5月の台風出水では、投入したブロックが一部流失するなど被災し、現在に至っても、徐々に河岸欠損が進行しているため、一日も早い復旧に向けて、抜本的な対策である災害復旧工事（低水護岸と河岸復旧）を実施するものです。

なお、災害復旧工事については、10月14日から工事手続きを開始したところであり、今年度中に着手することで、一定の進捗を図る予定としています。

◆長野市綱島地先での河岸欠損等の被災状況



①春先の融雪出水、季節外れのまとまった降雨等で河岸欠損が徐々に進行。

【5月13日に応急復旧のため、ブロックを緊急投入】



②5月29日の台風2号出水により河岸が大きく後退

【資料提供】

- ・長野市記者クラブ
- ・日刊工業新聞長野支局
- ・新建新聞社
- ・長野経済新聞社
- ・日本工業経済新聞長野支局

【問い合わせ先】

国土交通省北陸地方整備局
千曲川河川事務所
工務課長 清水 清文
TEL 026(227)7614

◆今回発注予定である災害復旧工事の概要

